

産性の向上を図るため三か年継続事業として基金(4,400万円)を造成し、ハード、ソフト両面を通して対応していきます。また、農林業生産基盤の整備は、継続事業であります農村総合整備モデル事業、林道開設事業、国土調査事業など引き続き実施し、基盤整備に努めます。水産業の振興は、漁業生産

観光基盤づくりと商工業の活性化

観光商工の振興



魅力ある観光地へとイメージアップを図るための観光基盤整備として、今年度は温泉掘削井の計画と合わせて、周辺の環境整備計画の策定、越後七浦観

の増強と経営の安定化を図るとともに、間瀬海岸埋立用地利用計画策定事業も併せて進めていきます。このように、本村の農林業振興、漁港整備、海岸埋立等の事業を総合的に推進するため、今月から農政課を「農林水産課」と改称して、各産業の経営安定と体質改善に積極的に取り組めます。

音前広場の環境整備などを予定しています。さらに継続事業であります弥彦浦遊歩道拡幅事業も前年同額を計上。ことしも観光ニーズに対応した観光資源の整備開発と誘客宣伝を積極的に推進します。

また、商工業の活性化対策としては、金融対策(産業育成資金など)をはじめとする各種施策を講じ、商工業の振興を図るとともに、本村経済の活性化、雇用の場確保を図るため進出企業への奨励金の交付や商工会、観光協会への補助など、地域経済を担う商工業の育成、活性化に努めていきます。

住みよい生活環境の整備

土木振興

今年度も村民のみならず最も要望の多い村道整備については、村道維持、改良、舗装工事費として8,950万円を計上し、みなさんの生活基盤づくりをさらにすすめます。そのほか、県道関係ですが、五ヶ浜巻線におきましては買収もほとんど終り、油島地内では650坪の土盛りも完了し、今年度は事業費4億円(概算)が確保されています。また、特殊改良第一種事業新湯寺泊線につきましては、農地の買収は完了し、二年度においては宅地及び物件補償、工事が一部進められます。次に矢川放水路ですが、用地、物件補償も完了し今年度は事業費2億2,0

00万円の予算で仮設道路、橋梁、附帯工事などがはじまります。その他国営西浦原排水農業水利事業大通川放水路事業ですが、関係地区のご協力をいただき一部測量調査が行われ基本設計の作業中でありまして、近く関係地区に呈示され協議を願う一部用地買収に入る予定となっております。

最後に、県単事業ですが、和納地内における消雪パイプ布設事業は完了しましたが、今後、さらに新規要請してまいりますし、岩室地内における流雪溝設置事業及び新設和納小学校間の歩道設置事業も、継続事業として早期完成にむけて積極的に推進していきます。

豊かな人間性を育む文化・スポーツの振興

学校、社会教育の振興



学校教育については、最も重点施策であります和納小学校建設事業が二年目を迎え、予算については総額の31%強の9億865万円を計上し、今年度末までには管理棟、屋内運動場、音楽棟の完成を予定しています。なお、財源につきましては国庫負担金、補助金、事業債の外、基金全額の3億8,000万円を充当。平成三年度において給食セン

ター、プール、グラウンド、外構工事を終え、予定どおり二学期からの開校予定です。また、今年度中学校には、指導要領の改定によりパソコンを導入し、より教育内容の充実を図っていきます。

次に社会教育ですが、今年度も生涯教育、生涯学習を中心に各種事業を実施し、みなさんの潤いある生活づくりを応援します。また最近、ピアノ演奏会をはじめとしたコーラスグループなどの活躍など、音楽熱が高まり、これからの情操教育、豊かな心づくりのためランドピアノ一台(190万円)を購入入します。スポーツ・レクリエーション活動の推進については、よりよい環境づくりのため施設整備に努めるほか、各種団体に対する助成を行い、各団体組織の育成強化、資質の向上を推進していきます。

平成2年度特別会計予算

国民健康保険

国民健康保険特別会計
4億7,826万4千円

歳入歳出ともに4億7,826万4千円で、前年度比2.8%の減です。財源は国民健康保険税2億3,914万1千円、国庫支出金1億5,828万5千円、交付金・繰越金・財産収入・諸収入など7,083万6千円、それに一般会計からの繰入金1,000万円です。また主な歳出は保険給付費が3億4,423万円、老人保健拠出金9,960万円などです。ことしもより豊かで健康的な生活をおくっていたため、療養給付をはじめ子供からお年寄りまで幅広い健康づくりを積極的にすすめていきます。

健康教育の充実強化

老人保健

老人保健特別会計

4億8,165万5千円

歳入歳出とも4億8,165万5千円です。財源は交付金3億3,637万4千円、国庫支出金1億1,928万9千円、一般会計繰入金2,597万5千円などです。歳出のほとんどは医療諸費で4億7,943万3千円と歳出総額の99.5%を占めています。今後この医療費の節減対策と健康教育の充実強化に努めていきます。

温泉集中加熱事業特別会計

歳入歳出ともそれぞれ5,084万4千円

歳入歳出ともそれぞれ5,084万4千円、主な歳入が使用料及び手数料が2,175万4千円、繰入金2,150万円、繰越金・財産収入などが759万円です。歳出の主なものは業務費の3,754万円、これからますます多様化する観光ニーズに的確に対応するための安定給湯とそのため施設の整備をさらにすすめていきます。

水道事業会計

年間給水量は2,950戸
年間給水水量は1,691千m³

今年も安定供給を図るため、施設の維持管理をはじめ老朽管の整備などに努め、経営の効率的運営のため努力します。

平成2年度は、給水戸数2,950戸、年間給水量1,691千立方メートルを見込み、収益的収入は2億6,755万1千円、収益的支出は2億4,955万1千円のそれぞれで運営します。また資本的収入は1億6,741万1千円、同支出は4億8,014万4千円を計上し、不足分の2億4,060万3千円は損益勘定留保資金などで補てんします。

ことしの主な事業

(社会福祉対策)

家庭奉仕員事業委託金	564万円
老人クラブ助成金	179万円
静閑荘管理運営費	935万円
保育園管理運営費	2億615万円
敬老会費用	245万円
国保特別会計繰出金	1,000万円
老人保健特別会計	2,597万円
社会福祉協議会負担金	131万円

(保健衛生対策)

衛生組合負担金	8,710万円
各種検診予防接種事業	2,320万円
人間ドック助成事業	230万円
ごみ対策事業	2,150万円

(農林水産業対策)

水田農業確立対策費	1,086万円
基幹農道敷砂利工事費	300万円
国土調査事業	1,979万円
農村総合整備事業	1億620万円
松くい虫防除事業	103万円
林道整備事業	1,170万円
漁業振興対策	1,570万円
自然休養村管理事業	1,014万円
農業生産基盤整備関係事業負担金	3,654万円

(観光商工対策)

地方産業育成資金	4,400万円
弥彦浦遊歩道整備	500万円
観光宣伝広告(看板、パンフ)	644万円
商工会補助金	600万円

(生活基盤対策)

村道維持、改良整備	8,950万円
県道関係事業負担金	500万円
除雪対策費	724万円
河川海岸維持事業	320万円

(その他)

防火施設等整備事業	1,664万円
防犯灯設置事業	200万円
交通安全対策	258万円
国勢調査事業	293万円
非農地排水負担金	663万円
県央広域市町村計画改定費	67万円
広報編集費	385万円

(学校、社会教育対策)

和納小学校建設費	9億865万円
奨学金貸付金	288万円
社会教育団体助成金	101万円
生涯学習推進事業費	200万円
体育施設維持管理費	897万円
公民館運営費	830万円

